

職長・安全衛生責任者教育及び能力向上教育(再教育)研修会

日時 令和7年10月15日(水)・16日(木) 11:00～

場所 フジコミュニティーセンター

参加者 18名(うち再教育2名)(14社)

安全衛生委員会(伊藤泰雄委員長)は、企業の法令遵守および会員の安全意識向上を目的に、「職長・安全衛生責任者教育及び能力向上教育(再教育)研修会」を開催しました。能力向上教育(再教育)は、職長教育または職長・安全衛生責任者教育の受講から5年以上が経過した方を対象としています。



伊藤泰雄
安全衛生委員長

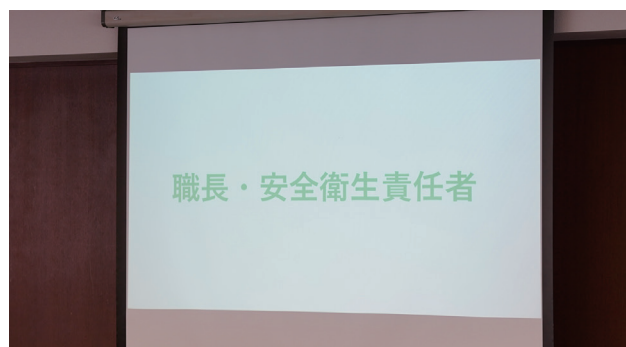
開会にあたり伊藤委員長は、「お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。すでに現場責任者としてご活躍の方、これから責任者となられる方もいらっしゃるかと思います。今回の2日間の研修はすべてを網羅するものではありませんが、日々の経験をより安全に活かす契機としていただければ幸いです。」とあいさつし、講習がスタートしました。



(株)フジ安全サービスセンター
代表取締役社長 辻太郎氏

講師には、株式会社フジ安全サービスセンター 代表取締役社長の辻太郎氏をお迎えしました。

1日目、最初に映像を用いて職長の職務内容を学びました。続いて過去の事例をもとに、見落とされがちな危険動作や注意すべきポイント、現場での具体的な取り組み、災害発生時の対応、職長の責任と役割の重要性などが解説されました。辻氏は「事故件数は全てを示すものではないものの、確実に減少しており、現場の意識向上



の表れである。」と述べられました。その後、「聞く・伝える」をテーマにした言葉の実習や、ヒヤリハット・作業手順に関する実習が行われました。

2日目は、作業と作業者の特性を踏まえた「適正配置」の重要性、危険有害業務に関する資格や教育内容、作業主任者や限定技能講習、一側足場の使用範囲と点検者の明記、石綿(アスベスト)関連の法改正、熱中症予防管理者の対応など、最新の法改正や実務への落とし込みについて詳しく説明が行われました。ワークシート演習では、事故発生時の行動手順やその後の対応を考え、参加者同士で発表を行いました。

能力向上教育(再教育)は、受講から5年以上が経過している受講者が対象であるため、これまでの職長としての行動を振り返り、初心を再確認する貴重な機会となりました。

研修を通して、職長は現場で作業者を直接指導・管理する立場として、安全衛生教育の実践において極めて重要な役割を担っていることが改めて確認されました。職長による適切な指導や作業割り当ては、事故や労働災害の防止に直結し、安全な作業環境の形成に不可欠です。

最後に辻氏から参加者ひとりひとりへ修了証が授与され、2日間の研修会は無事終了しました。

